

## 100を超えるチェック項目で太陽光発電所を査定

オフサイト(野立て)の太陽光発電所を対象に、太陽光発電所の価値(共通の物差し)を評価する制度です。この制度を利用することにより、新設、既設それぞれで次のようなメリットがあります。

【新設】現状の状態を把握し、計画の見直しや修正を行うことにより、より良い発電所建設を行えます。

【既設】現状の価値や状態を把握し、必要に応じて修繕(リパワリング)を行うことにより、発電所の価値向上を図れます。

### 【太陽光発電所の審査の流れ】

基本項目	設備	施工	土地	一つでも基準を満たしていない場合は対象外に
	法的DD	地域への告知	ハザード	
査定評価項目				長期安定稼働（災害など外的要因にも強く、どれだけ長期にわたって安定的に稼働することが見込めるか） 評価：A、B、C、D、Eの5段階で評価
発電効率評価				評価：a、b、c、d、eの5段階で評価

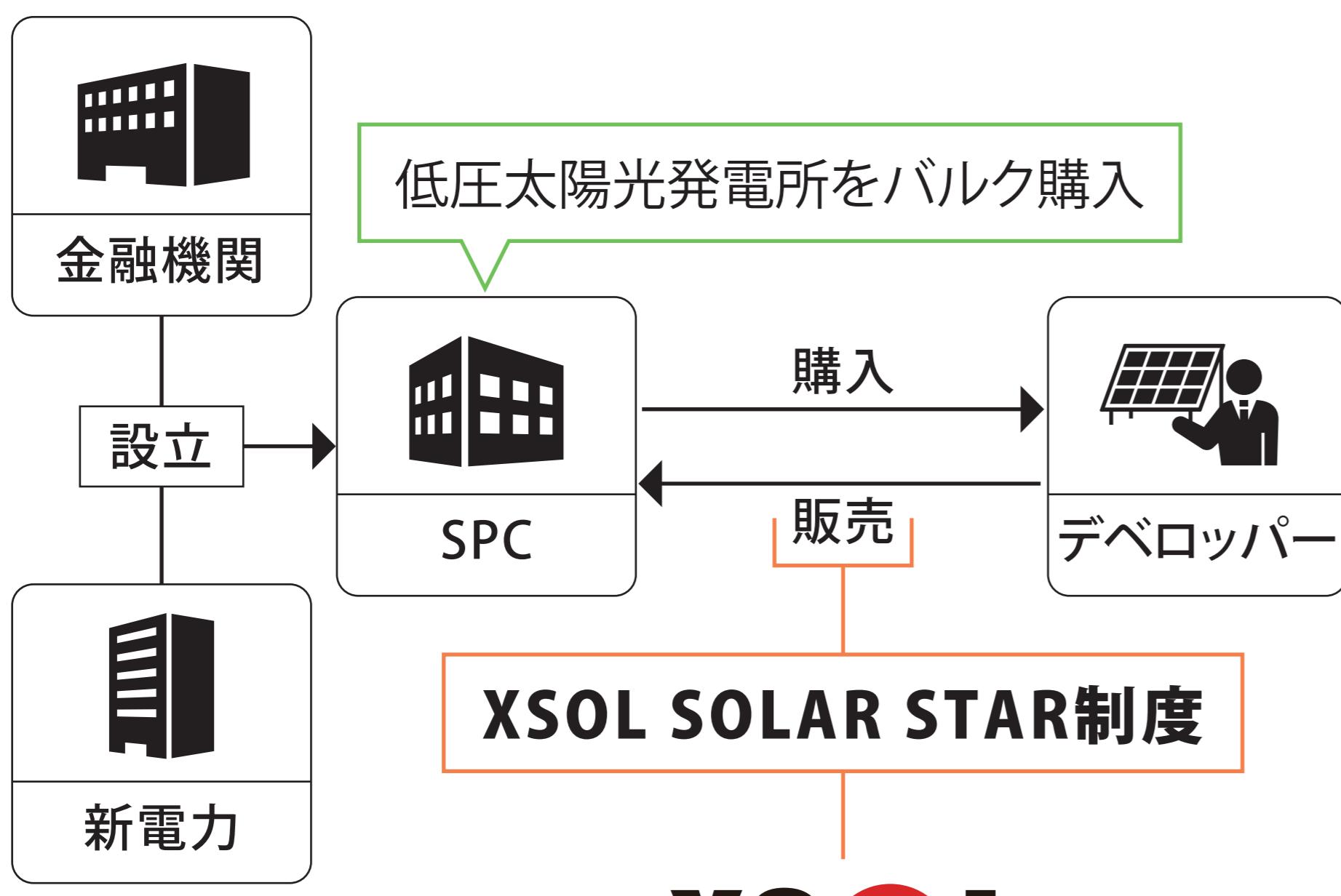
ふたつの評価を掛け合わせて、星の数でランク付けします。

評価例*	★★★★★	★★★★	★★★	★★	★
	A-a、A-b、B-aなど	A-c、A-c、B-bなど	A-e、C-c、B-dなど	E-c、C-e、D-dなど	E-eなど

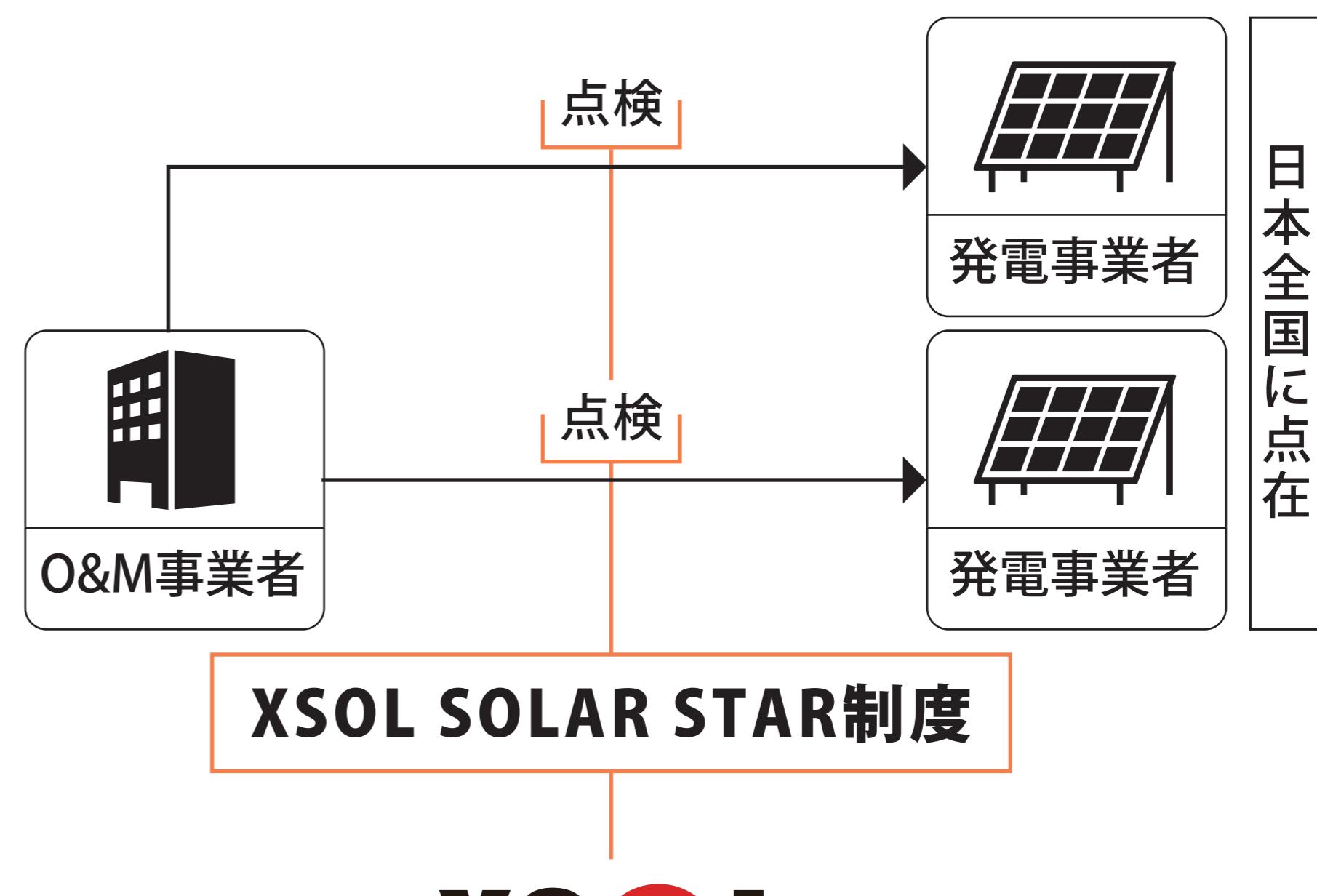
\*評価の組み合わせは一例です。該当の組み合わせであっても、現場の状況によってはランクが異なることがあります。

## ケーススタディ～新設時・既設時の例～

### 新設時



### 既設時



設計段階からデベロッパーと連携し、すべての太陽光発電所が健全な設備であることを適切に評価。

点検サービスとして第三者評価を実施。  
さらに、評価結果を基にしたリパワリング提案を可能に。

# 太陽光発電所の「格付け時代」が到来